

「(仮称)芦屋市文化基本条例原案策定委員会」の“市民委員”を募集します



市では、文化の振興に関する基本的な理念および方向性を示すため、「(仮称)芦屋市文化基本条例」の制定を目指しています。この条例の原案に市民の皆さんの意見を反映するため、次のおり「市民委員」を募集します。

【募集内容】
活動について
月に一回程度の会議に出席、一回の会議は、約二時間(開催日は委員会決定)

【募集人員】
二人以内

【応募条件】
市内在住で、満二十歳以上(本年十二月一日現在)のかた

【応募方法】
「芦屋市の文化振興についての私の視点」に関する作文(八百字以内、書式自由)に、住所氏名・電話番号・を記入し、一月十五日八消印有効までに、郵送またはメールで下記へ。
※選考は、選考委員会で決定します。

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091/☒info@city.ashiya.hyogo.jp(〒659-8501 住所不要)

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☒38-3244
☒ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【ロビーギャラリー】『源氏物語54首を書く』藤田朱雀 小品展

■期間 12月3日～25日(最終日は、午後3時まで。月曜休館)
■内容 源氏物語54帖より、各1首ずつ54首の和歌を「書」にした作品展 ■入館料 300円
■作家プロフィール 藤田朱雀(ふじた すざく)。武庫川女子大学文学部准教授。日展作家、日本書芸院・読売書法会・兵庫県書作家協会において役員を歴任。



タイトル「東屋」

【文学館講座】“ほっこり”書で遊ぶ講座

■日時 12月21日(日)午前10時～正午 ■会場 谷崎潤一郎記念館講義室 ■内容 実用的な書を書く ■講師 京都光華学園伝統文化科特別講師・石井みや美氏 ■受講料 3,000円 ■定員 16人 ■申し込み ファクスまたはEメールで上記へ

谷崎潤一郎館 臨時休館のお知らせ

■資料整理のための臨時休館 12月26日(金)・27日(土)
■年末・年始のための休館 12月28日～平成21年1月5日

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

フルートとピアノによる美術館コンサートin芦屋

■日時 12月20日(土)午後3時開演(午後2時30分開場)
■会場 美術博物館ホール ■内容 神戸モーツァルトクラブ主催のコンサート ■演奏 井上愛子(フルート)、小林五月(ピアノ) ■曲目 フルートソナタ(ブランク作曲)、ハンガリー田園幻想曲(ドップラー作曲)ほか ■入場料 2,000円 ■申し込み 直接会場へ

みんなで歌いましょう

■日時 12月19日(金)午後1時30分～3時 ■会場 美術博物館講義室 ■指導 加藤純子氏(歌)、沖倫子氏(ピアノ)、I LOVE ASHIYAの皆さん ■参加費 要観覧料(一般・300円)*歌集をお持ちでないかたは、歌集代1,000円(『愛唱歌』野ばら社)が別途必要です ■申し込み 直接会場へ



近世大坂文人画の世界 ～関西大学コレクションを中心に～



芦屋を中心とした阪神間は大坂の奥座敷と言われるように、受け継がれた文化は大坂をしのばせるものが多い地域です。なかでも床の間を飾る絵画作品は大坂画壇の作品が目立って確認されることに特徴があると言えます。阪神間モダニズムの中心とも言われる芦屋ですが、調度としての絵画作品は、煎茶とともに文人画が受け入れられてきた経緯があります。本年度は、近世大坂を代表する木村兼葎堂を中心とした文人画の世界を多面的に紹介します。

■展示期間 平成21年1月10日～2月22日(月曜日休館・祝日の場合は翌日休館)午前10時～午後5時(入館4時30分まで)
■会場 美術博物館(第1・第2展示室)

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

【シンポジウム「大坂画壇展望」】

■日時 1月10日(土)午後1時30分～3時
■パネリスト 関西大学教授・中谷伸生氏/大阪大学総合学術博物館教授・橋爪節也氏/司会:明尾圭造本館学芸課長
■定員 先着80人(要観覧券)
【展示(列品)解説】
■日時 ①1月24日(土)②2月7日(土)③2月14日(土)、午後2時～3時 ■内容 ①文人画の評価②掛軸の取り扱いと表具③展示作品をもとに

12月は「大気汚染防止推進月間」・「地球温暖化防止月間」です

問い合わせ 環境課保全担当 ☎38-2051

冬季には光化学スモッグや酸性雨などの原因となる「窒素酸化物の濃度が高くなります。この「窒素酸化物」は、家庭や職場で電気製品を使ったり、自動車に乗ったりするだけでも出るものです。特に、都市部では自動車から排出される窒素酸化物の量が、全体の半分以上を占めています。また、大気汚染が関係する地球温暖化問題として、地球温暖化の問題も起きている大気汚染や地球温暖化は、日々の生活の中で私たちがその原因をつくっているといえます。いま一度、私たちの暮らしを見直し、大気汚染の防止や地球温暖化にストップをかけるために、身近にできることから行動しましょう。



省エネ

- 【車の使用を自粛しましょう】
- 自動車の利用を控え、通勤や外出には、電車やバスなどの公共交通機関の利用を心掛けましょう。また、毎月20日に実施の『阪神地域ノーマイカーデー』や、毎月最終金曜日は、『マイ電車・マイバスの日』に協力しましょう。
 - 駐車時には、アイドリングをストップしましょう。また、『アイドリング・ストップ運動』に協力しましょう。
 - 適正速度で、空ぶかしや急発進、急停止などはやめましょう。『自動車公害防止月間運動(11月～1月)』に協力しましょう。

【省エネ生活をしましょう】

- 暖房器具の設定温度は20度を目安にしましょう。
- 電気器具のスイッチを小まめに切りましょう。(『主電源オフ運動』にご協力を)
- 冷蔵庫は、詰め込まず unnecessaryな開閉を減らしましょう。

省資源・リサイクル

【ごみを少なくしたり、再資源化を図りましょう】

- 買い物時は、過剰包装を断り、買い物袋を持参しましょう。
- 缶・ビン・ペットボトルなどを分別し、リサイクル活動に参加しましょう。
- 使い捨て商品の使用を控え、ものを大切に長く使いましょう。

環境保全型製品の使用

- リサイクル商品やエコマーク商品を利用しましょう。

旧松山家住宅「松濤館」(図書館打出分室)



●重厚でルスティカ仕上げの花こう岩を積んだ建物「松濤館」



●縦長で一對となったアーチ窓



●「松濤」の文字をデザイン



●東に面した「松濤」の文字をデザインした扉

昭和二十七年、松山與兵衛氏から市が買取、二階建て洋館の内部を改装し、昭和二十九年から図書館本館として利用、昭和六十二年に本館が伊勢町に移転するまで、図書館本館として、市民に親しまれてきました。また、平成二十二年十二月十七日から、図書館打出分室として、現在も利用されています。本建物が現在あるのは、大阪からの移築を決心された松山與兵衛氏、そして昭和六十二年ころ、地域住民が保存を要望したことにあります。

このたびは、旧松山家住宅松濤館(現図書館打出分室)が、西山町中川家住宅に続き、国の登録有形文化財に登録されました。打出小樋町にあるこの建築物は、明治中期から後期にかけて建設され、もとは、大阪の十二両替屋の一つで、逸身銀行の所有

和六十二年ころ、地域住民が保存を要望したことにあります。今回の登録は、外観はイタリアルネサンスのバラツク風の、重厚でルスティカ仕上げの花こう岩を積み、縦長のアーチ窓を持っていること。松濤の文字をデザインした扉、内側にはロマネスク調の木製飾り柱等があり、また石垣と建築が調和し、落ち着きあるたたずまいの形成に寄与、地域の重要なシンボルの存在となっていることなどによりです。

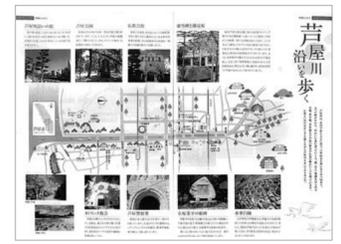
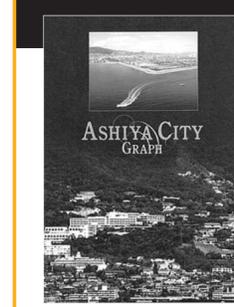


●イタリアルネサンス風の「松濤館」東・北角

登録対象のあれこれ

登録有形文化財建造物とは、私たちの周りの、身近な建造物で、地域に親しまれている建造物や、時代の特色をよく表しているもの、ふたたび造ることができないものは、かけがえのない文化財です。平成八年十月一日に施行された文化財保護法の一部を改正する法律によって、保存および活用についての措置が、特に必要とされる文化財建造物を、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する文化財登録制度を導入されました。この登録制度は、消滅の危機にさらされている多種多様な大量の近代等の文化財建造物を、後世に幅広く継承していくために作られたものです。これは届出制と指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護措置を講じる制度であり、従来の指定制度(「ルスティカ」とは)と異なり、切石積み(一つ、地を深く引き込ませて石の表面を突出させ、しかもその表面を粗く仕上げたもの。イタリア・ルネサンス期には壁面の質感を強めるために好まれた手法)が(重要なものを厳選し、許可制等の強い規制と手厚い保護を行うもの)を補完するものです。古き良き建造物を、資産として活かし、文化として生かすという発想から、活用しながら保存するというのが(登録制度の意義といえます)。

「芦屋シティグラフ(ASHIYA CITY GRAPH)」好評発売中!



「芦屋シティグラフ」(A4判・52ページ/全カラー刷り)を発行・発売しています。芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化一それらにふれつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧(地図)など盛りだくさんの情報を、写真170点のほかイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。ご利用ください。

■発売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円



問い合わせ 広報課 ☎38-2006